

歴史と文教の城下町



広報

たかなべ

2019

5

no.418





⑰



⑮



⑬



⑱



⑯



⑭

H31年 (2019)	H30年 (2018)	H29年 (2017)	H28年 (2016)	H27年 (2015)	H26年 (2014)	H25年 (2013)	H24年 (2012)	H23年 (2011)	H22年 (2010)	H21年 (2009)	H20年 (2008)	H19年 (2007)	H18年 (2006)	H17年 (2005)	H16年 (2004)						
4・23	11・9 18・30	10・8 1・29	3 月	12・11 1・9	1・30	8・3 23・月	12・10 22・月	8・9 27・17	10・1 27・30	8・8 2・2	7・6 17・30	5・5 14・14	3・3 24・24	10・10 1・30	12・12 8・28	7・7 21・21	12・12 11・11	9・9 4・4	12・12 月	8・8 20・20	
キャンオン開所式	西都児湯鍋合戦ファイナルで高鍋が優勝【23】	台風24号、県内で猛威を振るう	中学生以下の子ども医療費が完全無償化	キャンオン株式会社、高鍋進出が決定【22】	花守山整備事業完成	凱旋公演が宮崎市民文化ホールで開催	高鍋出身で宝塚歌劇雪組トップ娘役の咲妃みゆさんの	高鍋大橋側道橋開通【21】	石井十次没後100周年	皇太子さま、第18回全国農業担い手サミットご出席のため来県（県立農業大学校視察のため来町）	高鍋出身で宝塚歌劇雪組トップ娘役の咲妃みゆさんの凱旋公演が宮崎市民文化ホールで開催	高鍋大橋側道橋開通【21】	高鍋大橋側道橋開通【21】	高鍋大橋側道橋開通【21】	高鍋大橋側道橋開通【21】	高鍋大橋側道橋開通【21】	高鍋大橋側道橋開通【21】	高鍋大橋側道橋開通【21】	高鍋大橋側道橋開通【21】	高鍋大橋側道橋開通【21】	高鍋大橋側道橋開通【21】



⑳



㉑



㉒

そして令和に続く...



㉓



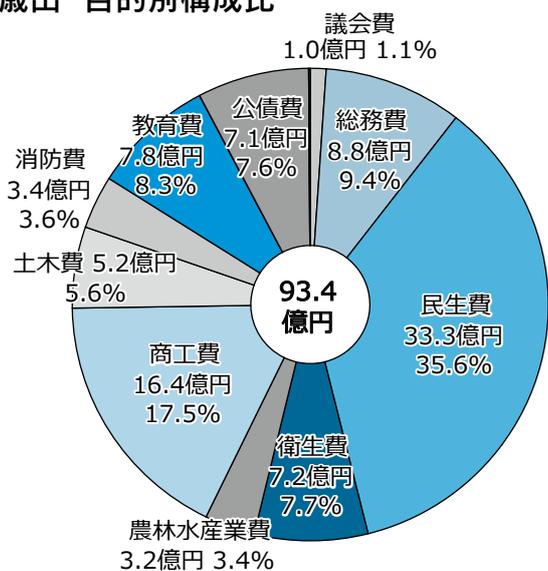
㉔

平成31年度 高鍋町一般会計当初予算 93億4,300万円

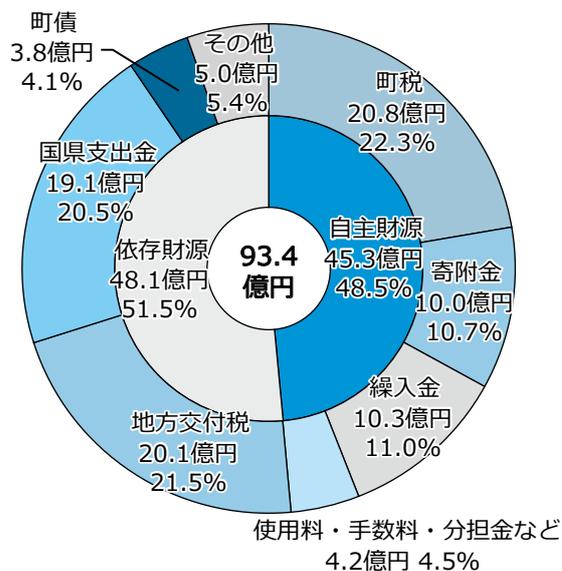
平成31年度高鍋町一般会計当初予算は、第6次総合計画「高鍋みらい戦略」及び施政方針に掲げる「豊かで美しい歴史と文教の城下町 たかなべの再生」の取り組みに重点をおいた予算編成を行い、新規事業に人口減少対策アンケート調査事業、公共施設劣化点検診断事業、わかば保育園園舎改修等基本設計事業、高齢母牛更新対策事業補助事業、学校長寿命化計画策定事業、小学校教科体育サポート事業、秋月種茂公没後200年シンポジウム事業などを計上しました。

予算規模は、宮崎キャノンへの造成地の売却完了、アクセス道路整備の年次的整備などにより工業用地造成事業関連経費が大幅に減ったほか、認定こども園施設整備事業及び津波避難タワー建設事業の事業完了、返礼割合を見直したふるさと納税推進事業など、前年度事業の反動減の影響を受け、総額93億4,300万円、前年度比26億3,700万円の減額となりました。

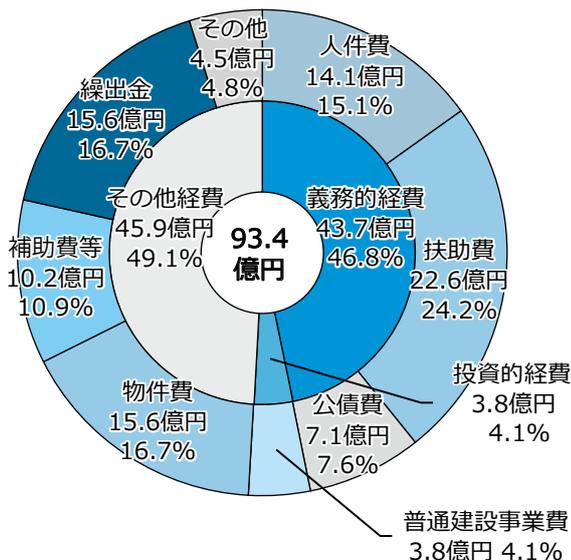
歳出 目的別構成比



歳入 目的別構成比



歳出 性質別構成比



自主財源…町が自らの権限や財産等により得る収入です。
依存財源…国・県などから交付されたり、借りたりして得られる収入です。

※ () 内は、前年度当初との比較。

一般会計	93億4,300万円 (△22.0%)
特別会計	61億3,830万円 (△13.9%)
国民健康保険	27億7,276万円 (8.9%)
後期高齢者医療	5億788万2千円 (△0.3%)
下水道事業	3億6,944万4千円 (△19.3%)
介護保険	19億1,218万8千円 (4.7%)
介護保険認定審査会	1,032万8千円 (0.0%)
一ツ瀬川雑用水管理事業	1,700万5千円 (0.0%)
西都児湯固定資産評価審査委員会	33万8千円 (12.3%)
工業用地造成事業	5億4,835万5千円 (△68.8%)
一般・特別会計 合計	154億8,130万円 (△19.0%)

義務的経費…支出が義務付けられ任意に削減することが困難な経費
投資的経費…インフラ整備など、資産がストックとして将来に残るもの
その他経費…上記以外の行政活動のために必要な経費

※グラフの数値は、四捨五入など端数調整のため計数が一致しない箇所があります。

水道事業	収益的収入	4億7,378万7千円 (2.3%)
	収益的支出	4億6,590万8千円 (8.9%)
	資本的収入	5,000万3千円 (0.0%)
	資本的支出	2億8,821万2千円 (5.5%)

平成31年度に実施する主な事業について新規事業を中心に紹介します

※事業費は万単位で四捨五入しています。

【総務費】

新 臨時職員管理システム導入 251万円

2020年度から臨時職員に対して導入される会計年度任用職員制度に関するシステム構築の経費です。

新 公共施設劣化点検診断 200万円

公共施設の将来に向けた維持管理や整備を検討するため、老朽化の度合いを点検診断する経費です。

新 人口減少対策アンケート調査 350万円

定住移住、雇用、地域資源の活用など人口減少対策やまちづくりの基礎資料となるデータ収集に係る経費です。

県議会議員選挙・参議院議員選挙 1,715万円

県議会議員選挙(4年ごと)、参議院議員選挙(3年ごと)の各選挙に係る経費です。

【民生費】

幼稚園・認定こども園給付事業 3億4,010万円

新たに認定こども園に移行したものの木保育園など認定こども園の運営に係る経費です。

基幹相談支援センター業務 1,799万円

障がい者(児)の相談支援、ニーズ対応を総合的、専門的に行うため専門職員を配置します。

子ども・ひとり親家庭医療費助成事業 8,300万円

中学生以下の子どもに係る医療費の無料化等に要する費用です。

新 わかば保育園園舎改修等基本設計事業 205万円

老朽化した保育施設の計画的な整備を検討するための経費です。

【衛生費】

妊産婦・乳児健康診査委託 1,670万円

妊産婦・乳児健康診査、新生児聴覚検査などの費用の一部を助成します。

予防接種事業 6,246万円

乳幼児、小中高生及び高齢者に対して定期予防接種及び任意予防接種を実施するための経費です。

【農林水産業費】

新 高齢母牛更新対策事業 45万円

肉用牛の繁殖基盤の拡大を図るため、7歳以上の高齢母牛の更新等に対して費用の一部を助成します。

新 森林整備意向調査 222万円

森林の適切な管理を図るため創設された森林経営管理制度の導入に向け、森林所有者等のデータ収集を行う経費です。

【商工費】

工業用地造成事業特別会計繰出金 5億4,835万円

宮崎キャンノ工場建設に伴う用地取得費用及び造成地整備に係る地方債の償還費用です。

ふるさと納税推進事業 10億円

ふるさと納税の寄附者へ贈る返礼品の代金や送料などの経費のほか、寄附金の一部を基金に積み立てる費用です。

【土木費】

建築物耐震改修等事業 632万円

地震発生の際に倒壊の恐れがある住宅の耐震診断や耐震改修等に係る経費の一部を助成します。

防衛施設周辺道路改修等事業 6,917万円

防衛省補助を活用して、生活道路の改良など安全で快適な道路環境整備を実施します。

【消防費】

新 消防団機庫改修事業 64万円

県補助事業を活用して、老朽化した機庫のトイレを改修します。

防災行政無線受信機購入 454万円

津波浸水区域や土砂災害警戒区域に指定されている世帯等に戸別受信機を無償貸与します。

【教育費】

外国語指導助手配置事業 645万円

2020年度から全面実施される外国語教育に向けて、外国語指導助手を2名体制に増員するための経費です。

新 小学校教科体育サポート派遣事業 63万円

体育の授業に器械体操や水泳などの専門指導者を派遣し、児童の体力・技術力の向上や教育内容の充実に努めます。

新 秋月種茂公没後200年記念シンポジウム 220万円

没後200年を迎える秋月種茂公に関するシンポジウム等を開催する経費です。

新 高鍋町美術館開館20周年記念事業 1,163万円

芸術文化の振興、発信拠点として開館20周年を迎える高鍋町美術館のメモリアル特別展を開催する経費です。



開所式の様子



備蓄品が収納できるベンチなどを備えている



段差の高さが低くのぼりやすい階段となっている

樋渡地区津波避難タワー

高鍋町に2つ目の津波避難タワーが完成しました！

今年3月、町内2棟目となる「樋渡地区津波避難タワー」が完成し、3月24日に開所式・地元の方向けの見学会が行われました。このタワーの完成で町内の特定避難困難地域は解消されました。

～防災特集～

▲避難時の心得▲

1. 地震にあったら、まず身の安全！

地震を感じたらテーブルなどの下に身を伏せ、揺れが収まるのを待ちましょう。身の安全が確保されたら津波に注意し、急いで海辺から離れましょう。

2. 正しい情報を入手する

災害が発生したときには、噂に惑わされず、テレビ、ラジオや防災行政無線等からの情報に注意し、正しい状況の把握につとめましょう。

3. 警報・注意報が出たらすぐ避難！

警報・注意報を知ったら、すぐに避難しましょう。地震を感じなくても、津波が襲来することがあります。

指定避難場所一覧

- | | |
|--------------------------------|------------------------|
| ①高鍋町防災センター
(役場来客用駐車場内) | ⑦高鍋西小学校体育館 |
| ②たかしんホール
(高鍋町中央公民館) | ⑧東児湯消防組合 |
| ③高鍋町体育館 | ⑨農業大学校体育館 |
| ④井上商店スポーツセンター
(高鍋町スポーツセンター) | ⑩高鍋農業高等学校 |
| ⑤高鍋町美術館 | ⑪めいりんの湯 |
| ⑥高鍋西中学校体育館 | ⑫高鍋町ふれあい交流センター |
| | ⑬(福)晴陽会 うからの里
高鍋事業所 |
| | ※⑫、⑬は福祉避難所に指定されています。 |



地域防災マネージャーコラム☆Vol.4

今回のテーマ 『「備え」の再確認』

元号が新たに「令和」となり、「悠久の歴史と香り高き文化、四季折々の美しい自然、こうした日本の国柄をしっかりと次の時代へと引き継いでいく(首相談話)」、より良い高鍋町でありたいと思います。が、災害はいつ何時起こるかわかりません。より良い高鍋町を「次に時代へと引き継いでいく」のは、「人」です。

町民の皆さんが、いざという時に自分の身を守り、よりよい高鍋を次の時代へと引き継いでいけるよう、「備え」をすることが重要です。公民館ごとの防災活動の充実、各ハザードマップの確認、近くの避難所の確認、3日分(できれば7日分)の非常食の備蓄、家族防災会議の開催、家具の転倒防止策など…。

今一度、「備え」の確認をしましょう。

